

高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 熟議録

【1班】奈良県立奈良朱雀高等学校 2年男・奈良県立御所実業高等学校 3年男・奈良県立高田高等学校 1年女、奈良県立奈良朱雀高等学校 2年男・奈良県立奈良情報商業高等学校 3年男・奈良県立奈良高等学校 2年女

【ファシリテーター】川下優一(奈良県立香芝高等学校)【書記】増井宏昌(大阪工業大学)

F: 大人が作ったネットのルール(マナー)について、どのようなものがあるか考えよう。また大人とはだれのことを指していると思うか?

S: 先生、親、社会人、警察、公務員、権力者・・・

F: 警察、公務員、権力者の作ったルールやマナーは法律が関わる。先生、親、社会人が作るのは法律にかかわらない。その中でも先生や親が作ったルール、マナーについてどんなものがあるか考える。

(先生編)

S: SNSに個人情報や特定されるような情報は書き込まない。PCを使う時の目的をいう。LINEやTwitterに悪口を書き込まない。インターネットで出会う人は言動に気を付けてコミュニケーションをとる。

(親編)

S: 海外のサバの口座に振り込まない。PCの設定を勝手に変えない。お金のかかることはしない。

F: じゃあ、次は出てきた意見を良いと思う方と、いらなそうと思う方に理由もつけて分けてください。

S: 勝手に設定や機能を変えない。変なサバにアクセスしない。課金をしてはいけない(課金についての意見、多数)。→課金について、是か非かの討論があり。

F: 君たちの中にはケータイの料金を全部アルバイトで自分が支払っている人がいるが、課金するのはいけないこと?

S: 自分で稼いだお金で課金する分には良いと思う。親がお金出している場合は、親にちゃんと報告しないといけない。成人してから課金するべき。

F: なんで成人してから?

S: 大人としての責任が持てるようになるから。16歳でも社会人としてお金を稼いでいる人もいる。

W: 少し大人の立場の意見が多い感じがする。君たち高校生が思う課金についての意見がほしい。

S: 課金はしたい。ゲームのアイテム、SNSでコミュニケーションするためのスタンプがほしい。人によって、課金していいものと課金してはいけないものでカスタマイズすればいいと思う。

F: それを親にどうやって説得する。世間一般的に課金については否定的だね。もし、LINEやメールが有料になったらどうする?

S: 使うために、親に説得させる。使うための理由が必要。基本的に使わない。課金がダメでLINEやメールが使えないようになると、皆手紙を書くようになるかも。それはそれで面白い。僕は使わない(多数意見)。

F: 今聞いた話は、大人的には高校生の課金是否定的であることを知ってほしかった。君たちには課金について、大人の作ったルールに臆することなく、前向きな君たちの意見を取り入れて、発信してほしい。

S: 家族内で利用規約を作る。親の説得が無理なら、自分のお金でまかなう。使いすぎることがあるから、上限(1万円)を設けて、超えて分は自分のお金で支払う。ゲームに課金する前に、服や勉強に投資するべき。やることをやってから課金したほうが良い。

F: さまざまな意見がありました。これらの意見は君たちが考えたルールです。家族でルールを作るのは親(大人)が作ったルールではなく、君たちも一緒に考えたルールです。家族でのルール、利用規約を作ってみましょうか。

<熟議終了>

【ファシリテーター所感】

討論の内容を絞り込む前に漠然とテーマについて問いを投げかけたが、高校生には難しいようであった。「大人」とは誰のことを指すのかということから、生徒が納得のいっていないルールを模索していく中で、課金についての討論が活発になったので話を膨らまし、最終的には家族によってルールが違うところ、また生徒の意見から利用規約を作ろうということになった。時間終了間際になって議論が白熱してしまったことについて、生徒の意見を吸い上げてまとめていくことが十分に出来たかと言われると疑問が残る。しかし、議論の内容について、こちらでマッピング等を用いグループの意見をまとめていくことで、発表準備が概ねスムーズに進行した点については良かったと感じる。

【書記所感】

具体的な意見を議事録に書き込む速度に間に合わず、重要な部分も聞き取れないところもありました。しかし、ファシリテーターと議事録を見直すことで整合性を保つことができました。

高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 熟議録

【2班】奈良県立奈良朱雀高等学校 3年男・奈良県立奈良朱雀高等学校 3年男・奈良県立奈良朱雀高等学校 3年男
 奈良県立奈良情報商業高等学校 2年男・奈良県立御所実業高等学校 3年男・奈良県立高田高等学校 1年男
 【ファシリテーター】林孝宣(奈良県立奈良朱雀高等学校)【ファシリテーター補助】金子真志(目白大学)【書記】岩本香澄(奈良学園大学)

<p>F: ルールとマナーを考える 良いイメージ、悪いイメージ</p> <p>S: SNS は自分の体の体調を考えて 書き込んだものは一度読む 画面の向こうに人がいる 親がいるところでPCをする 詐欺はセキュリティで守れる 変な画像を投稿しない 人の個人情報をながさない 長時間しない アカウント乗っ取りはしない 悪口・暴言をしない 情報モラルを小学生から スマホの使う場所を限定 SNS での発言はひかえめに 電気代を考える ～ながらスマホをしない コミュニティを荒らさない 愛知の夜9時以降のスマホ禁止はきつい ネットの情報は取捨選択する ゲームでのマナー マナーの悪い大人が子どもに影響を与える ウィルスを入れないようにする</p> <p>F: ルールとマナーの違い S: ルール: 決められているもの</p>	<p>F: ルールとマナーの違い S: ルール: 決められているもの 守るもの してはいけないこと 絶対なこと 明確なもの</p> <p>マナー: 暗黙の了解 他人を想う・気遣う 守ろうとすること</p> <p>F: 人によってルールとマナーの価値観は違う ・ルールとは ・マナーとは</p> <p>S: ルールとは、大人が考えた決まりごと マナーとは自分で考えて、他人を敬う</p> <p>F: ルールとマナーの問題を1個ずつ決める S: ルール→アカウント乗っ取られる側の対策 マナー→SNS でのマナー</p> <p><熟議終了></p>
--	--

【ファシリテーター所感】
 最初、班6名で意見が出され、ルールとマナーに意見を分けた。別れた意見でルール(3名)とマナー(3名)で班も別れた。班に分かれても、生徒1人ひとりが思うルールやマナーの違いを話し合い、ルールとは何か、マナーとは何かの違いを考えながら、それぞれの班で意見をまとめていた。

【ファシリテーター補助所感】
 ルールとマナーの違いを意識して、高校生としてどのような行動をすれば良いのかを熱心に考えていたのが印象的でした。また、「ルール」や「モラル」の定義が班の中でも複数あり、「自分と他人が考えている事が違う」事を実感し人に伝える事の難しさについても考えて貰えたのではないかと思います。

【書記所感】
 高校生の話を聞きながら打ち込むのは疲れたし、たいへんだった。また、班の中で2つにチームが分かると議事録をとるのが難しかった。

高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 熟議録

【3班】奈良県立奈良情報商業高等学校2年女・奈良県立御所実業高等学校3年男・奈良県立奈良朱雀高等学校2年男
奈良県立高田高等学校1年男・奈良県立奈良朱雀高等学校1年女・奈良県立大和広陵高等学校2年男

【ファシリテーター】溝渕健作(ナリス) 【ファシリテーター補助】井口敬之(ナリス) 【書記】長谷川愛莉(鴻池病院)

<p>F:フィルタリングをかける理由、何故あるのか？</p> <p>S:親と相談してかけるかかけないかを定める。フィルタリングの種類があって、どこまでならかけたほうがいいのか？</p> <p>F:フィルタリングをかけたほうがいいのか？</p> <p>S: (かける)知らない人に自分のメールアドレスなどが流出する事があった場合は困る。ゲームの課金は親に養ってもらっている間は制限かけるべき。危険サイトのONかOFFでできる画像やサイトが違う。知らないサイトが出てきたときはそのサイトを別サイトで調べてから入るかを定める。</p> <p>(かけない)動画が見られない。ゲームができない。調べると意欲が減る。</p> <p>F:安全教室の先生になったとして、フィルタリングはかけずに、そういう怪しいサイトに入らないようにするために、もし先生だったとしたら自分ならどういう風に言うかなということを考える。かけなくていいよ、といううえで、知っておいてほしいということも言ってもいい。</p> <p>S:知らなくて怖いなら有名どころから入れればいい。どこまでの制限にすればいいのかを親に聞く。フィルタリングがかかって見られないのであれば、親の携帯で調べ物をすればいい。</p>	<p>危険だと思われるサイト間違って閲覧しにいかない。好奇心でも注意する。スマホに真っ先に頼らずに、電子辞書などで調べればいいのか。セキュリティソフトがあればいい。ダウンロードした時にウイルスが入る。危ないサイトに入ってしまう。</p> <p>F:何故フィルタリングが無いほうがいいのかと思ったか？</p> <p>S:一度は失敗して経験を積むこと。遊んで調べた結論が、経験。相談するなら親。相談して携帯会社にも行けばいい。「登録しました」の表示にびっくりしてメールを送ったこと。高額な請求も来たこと。メールにあった画像を開き、ワンクリック詐欺にあった。「退会する」をクリックしたら逆に大量のメールが来た。メールアドレスにキャンセルを押しても元の画面になった。自分がやったことを話せばいい。やってもらうというのも、体験してもらうのもいいのではないか。</p> <p>F:講師が言っている中で違うと思ったことはあるか？</p> <p>S:フィルタリングは一度かけておいて、三段階のうちどのフィルタリングまでをつけておくか SNS でうるさいからという女性についていせ、相手が消せと言ったのに消さなくて結局 2ch も Twitter も警察に捕まる。無視するか、フォローを切る。</p> <p><熟議終了></p>
---	---

【ファシリテーター所感】

「大人が作った子どものルール&マナー」をどのように感じているかを引き出すために、スマホ安全教室を中心にどのように感じているかを聞いてみた。今回のグループは、スマホや SNS の利用スキルが高く、スマホや SNS の危険性はちゃんと理解していた。基本的なことを理解した上で、どのように使いこなしていくかを模索しているように感じた。

大人が喜ぶようなルールを子どもたちは簡単に作成できるレベルに達している一方で、逆に大人たちは次のステージにうつらなければ子どもたちにとって良いルールは作れないようにも感じた。なので、より多くのトラブル事例を提供し、いろんな角度から判断できるように、今後指導していく必要があると感じた次第です。

【ファシリテーター補助所感】

学校・学年の異なる者同士で最初は遠慮がちだったが、次第にいろんな意見が活発に出てきたように思う。

高校生の現場で起こっている IT の現状や彼ら彼女らの考えていることを生の声として聞くことができたのは、ファシリテーターとしてだけでなくシステムエンジニアとしても学ばせてもらうことの多い有意義な一日であった。

【書記所感】

今回、こういったことをして私は、私が以前参加した時とは内容は違いますが、私とは考えたりすることも違って、すごいなあと思いました高校生のときでもそんな視点では考えられなかったもので、そう思うとこの子たちはすごいと思いました。Twitter を題材とした話でも、結構体験談があったのですごいなと思いました。

高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 熟議録

【4班】奈良県立青翔高等学校3年男・奈良県立奈良朱雀高等学校2年男・奈良県立奈良朱雀高等学校2年男
奈良県立大和広陵高等学校2年男・関西中央高等学校2年男

【ファシリテーター】村上友香(帝塚山大学卒)【書記】森田拓也(御所実業高等学校卒)

<p>S:この中でスマホを持っている人→全員手を挙げる</p> <p>S:ゲームとか課金したことある?→一人も手を上げない</p> <p>S:SNS って知らない人と知り合うためのツール? →LINE と Facebook はいいけど、Twitter ってヤバい。</p> <p>S:バカッターとかTwitter って悪いイメージやん。 →南極なう!・線路なう!・醤油なう!</p> <p>S:知識があってもモラルやマナーがないとだめ。→誰が教える? →学校の先生。でも、情報の先生は兼任だったり、講師だったりするから全然あかん。</p> <p>S:モラルとかマナーって授業でやった?→やってない。</p> <p>S:ネットのモラルを知る必要がある。大人が学ぶ機会が必要。 YouTube とか。お金のためにモラルのない行動する。子どもの模倣犯が生まれるところまで考えていない大人。</p> <p>F:大人が作ったルール&マナーについてどう思う?</p> <p>S:実際にルールを明文化していく。</p> <p>S:根本的なモラルやルールを最近理解している子が多い。でも、理解できていない子が事件などを起こしている。</p> <p>S:最近小学生もスマホ持っている。新しいおもちゃや感覚でスマホを利用している。身近にバカッター事案は割とある。モラルが欠けているのが一番の要因。</p> <p>F:大人が作った子供のルール&マナーを自分なりに考えてどんなルールがいると思う?</p> <p>S:子供のほうが「ネット」のモラルがある。でも大人のほうが「現実」のモラルがある。うまく混ぜ合わせれば良い。2ch は、オープンスペースだけど、Twitter は鍵のついた家ということが案外知られていないので、怖い。</p>	<p>F:大人が作ったルール&マナーを紙に書いて。 →犯罪予告・著作権や肖像権・LINE いじめ・バカッター盗撮(スマホカメラ等)</p> <p>S:モラルって誰が教える?→親が教えていくもの。それを子供に教えているはず。なぜそのモラルを子供は利用しないのか。わかっているつもりだからルールやマナーを知ろうとしない。知っているやつらはモラルをわきまえている。だから、しっかり親にもモラルを教える。ネットのモラルを知ってもらうことが必要。</p> <p>F:そのためにはどんなマナーやルールが必要?仮に例としては「LINE いじめ」ならば「LINE いじめがあつて」→「親が考えて」→「10時以降の使用禁止」が小学生の家庭で実際にあつた事やから、そんな感じのでもいいし、実際の自分たちの考えた法律を考えてみよう。</p> <p>S:ネット版の CERO を作ってみたら性とかの規制にはなる?→ならばネットいじめなどのコミュニティに関しては?→「ならルール」を作って配布していくようにしていけばいい。たとえばホスターとかで。</p> <p>F:なら、具体的なルールは?</p> <p>S:利用規約を読みやすくして、簡単にする。親が話して、子供も親に報告しよう</p> <p><熟議終了></p>
--	---

【ファシリテーター所感】

今年はかなりシビアな現実の問題を解決しようと努力する姿が印象的でした。「大人がだめ」という言葉に、丸投げはだめ。君たちはいつまで子どものつもりなの?と問いかけました。しかし、私はいつまで学生気分なのでしょうか?どうなれば大人なのか?大人は努力してなるものではないのでしょうか?今日から大人!と思い、背広を着て、ネクタイを締め、必死に大人の仮面をかぶりつづける。大きな子どもではなく、立派な大人をめざし続けなければなりません。今回も沢山の発見と考えさせられることができました。ぜひ次は私より楽しみに来ててください。

【書記所感】

今回は、書記側としての初参加でした。話を聞いていると、高校生らしいというか、今の自分にはない自由な発想があつて非常に面白かったです。今回の話は、自分にとってもすごく聞いていて面白かったです。

高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 熟議録

【5班】 関西中央高等学校 2年男・奈良県立奈良情報商業高等学校 2年男・奈良県立大和広陵高等学校 2年男
 奈良県立奈良朱雀高等学校 1年男・奈良県立奈良朱雀高等学校 1年男・羽衣学園高等学校 3年女
 【ファシリテーター】 佐藤竜介(関西中央高等学校) 【書記】 畠平誠也(近畿日本鉄道株式会社)

<p>F: ネットのサービスで何をしています？</p> <p>S: オンラインゲーム・動画サイト・LINE、Facebook などの SNS・twitter、Skype・通話アプリ・ソーシャルゲーム</p> <p>F: ネットの中でルールやマナーって何がある？</p> <p>S: 未成年者の課金制限（ソーシャルゲームなど）、既読スルー禁止、のっつりの禁止(LINE)、パクリツイートの禁止、反社会的な行為のアップロード (twitter)、個人情報流出の禁止、誹謗中傷の禁止、違法ダウンロードやアップロードの禁止、Twitter とかで暴言等を言わない、課金の年齢による制限。</p> <p>F: LINE・Skype のルールやマナー、思うこと。</p> <p>S: 荒らし・乗っ取り・既読無視・グループの中でのイザコザ・無言追加。</p> <p>F: オンラインゲームのルールやマナー、思うこと。</p> <p>S: 課金制度の上限・言葉づかい・人に迷惑をかける行為。</p> <p>F: SNS のルールやマナー、思うこと。</p> <p>S: 登録時の個人情報の入力・人を不愉快・迷惑をかける行為。</p>	<p>F: 動画サイトのルールやマナー、思うこと。</p> <p>S: 違法ダウンロード・アップロード・内容がだれかを中傷しているもの・転載・ゲームの実況による損得のリスク。</p> <p>F: Twitter のルールやマナー、思うこと。</p> <p>S: パクツイ。</p> <p>F: それらのルールについてどう思う？</p> <p>S: 極端な事件が起こるたびに制限が色々きつくなることはやめてほしい。ほとんどは当然のルール。守ることで、インターネットが楽しめるのでは。</p> <p>F: なぜルール違反を犯す人間がいるのか？</p> <p>S: ネットは顔が見えないから、想像力が落ちる。自分が楽しいが優先され、周りが楽しいことがわからない。それらが言わないとわかるからルールが明文化される。</p> <p>F: 結論は？</p> <p>S: ネットを十分に楽しむためには、現行のルールを守ることが必須となっている。自分だけが楽しいつもりではだめ。</p> <p style="text-align: right;"><熟議終了></p>
--	--

【ファシリテーター所感】

ルールに対しての不満というのが、そこまで多いメンバーではなかったからか、新たに作るという流れにはなりませんでしたが、改めて現行のルールを見直すという形になりましたが、他班との違いが出てそれはそれでよかったと思います。

【書記所感】

今回、第5班の書記を担当して思ったことは、今回のファシリテーターを担当してくださった方の問いなどの生徒に対する投げかけが少なく、思うように話が進まなかったとおもいました。

高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 熟議録

【6班】奈良県立奈良朱雀高等学校 2年男・奈良県立奈良朱雀高等学校 3年女・奈良県立大和広陵高等学校 2年男
 関西中央高等学校 2年男・奈良県立奈良情報商業高等学校 2年男・羽衣学園高等学校 2年女

【ファシリテーター】下村陽信(奈良県立十津川高等学校)【ファシリテーター補助】石川千明(奈良地域のまなび推進機構)【書記】日下部拓人(大阪情報コンピュータ専門学校)

<p>F: 携帯を使うルールってある？</p> <p>S: 時間による制限がある。</p> <p>Q: ゲーム内で課金したことある？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある 二人 ・ない 三人 <p>F: 大人が決めたルールに不満ってある？ (熟議)</p> <p>→あまりないということだったので、もっとこうなれば良いなあと言うことを合わせて聞く。</p> <p>S: フィルタリングが調べものするとき邪魔。</p> <p>F: 愛知県では夜 9 時以降はスマホ使用禁止になったけどどう思う？</p> <p>S: 絶対守れない。</p> <p>S: 部活等があつて、スマホがないと困る。</p> <p>F: 他にも意見があつたら言ってね。</p> <p>S: 学校のスマホ禁止の校則が時代にあつてない。</p> <p>S: ながらスマホをやめてほしい。</p> <p>F: じゃあこれらの意見まとめて一人ずつ思ったこと言ってみようか。</p> <p>S: 周りの人に迷惑かける意見が多く出た。</p> <p>S: SNS についての問題が多い。</p> <p>S: 大人が決めたルールは高校生からすると邪魔なものが多</p>	<p>い。</p> <p>S: 学校でのスマホ禁止は嫌。</p> <p>F: じゃあこれらの問題はどうすれば解決する？ (熟議)</p> <p>S: イヤホン使う。</p> <p>S: 公共の場で電話を使わない。</p> <p>S: 写真を撮るときは周りに気をつける。</p> <p>F: じゃあこれらの解決策に標語つけてみよう (熟議)</p> <p>S: 小学校から情報モラルを身に着ける。</p> <p>S: 時と目的を考えスマートに使おう 等</p> <p style="text-align: right;"><熟議終了></p>
--	--

【ファシリテーター所感】

高校生が今のスマホ等の使用に関するルールにおいて、不満がないと答えたことが驚きだった。よく問題になる LINE 等の人間関係においても、生徒たちは特に問題がないということであった。参加した高校生たちは、周りに流さずに自分を持っている印象を受けた一方で、どこか問題意識に欠けているようにも思われる部分も見受けられた。標語をつくるのはとても良かったが、最後の発表の後に、生徒たち自身が話し合い、フィードバックする機会があれば、より今後につながると思われた。短い時間の中で話し合い、全ての班が標語を出し、立派に発表できたことは本当に素晴らしかった。来年以降、更にこの活動が広がり、たくさんの生徒にとって学びの場となることを願っております。

【ファシリテーター補助所感】

「制限より自重」のメッセージの中に「子どもも頑張つて良い使い方をするからそれを見て大人も変わって」という想いが込められているところは面白かった。チーム分けの段階でアイスブレイクをしてメンバー同士打ち解けあい話ができる場づくりができれば、もう少し話を深める事ができたかも？と感じました。とても良い取り組みに参加でき感謝しております。

【書記所感】

大人が作ったルールについて高校生たちは様々な意見を持っているのだなと思いました。逆に普段自分たちの不満は、高校生たちは工夫しながら対応しているのが現状でした。結論としてでた、「大人が考えたルールをまず大人が守れていない」というのは、核心的で高校生には高校生なりの考えがあつて行動しているのだなと感じました。

高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 熟議録

【7班】奈良県立奈良朱雀高等学校 2年男・奈良県立奈良朱雀高等学校 3年男・奈良県立大和広陵高等学校 1年女
 奈良県立奈良情報商業高等学校 3年男・奈良県立香芝高等学校 3年女・羽衣学園高等学校 2年女
 【ファシリテーター】 鹿島慎一(奈良県立高田高等学校) 【ファシリテーター補助】 浅野晃一(畿央大学院) 【書記】 吉田航也(近畿日本鉄道株式会社)

<p>F:自分の友達はスマホのマナーをどれだけでできているかな？</p> <p>S:だいたい100%中30%くらいですかね～</p> <p>→個人情報に漏えいすることに気を使っている人もなかにはいますが歩きスマホなどの危険行動をしている友達や他人が多いから3割くらいと採点しました。</p> <p>F:重要度(基準)は？</p> <p>S:他人に迷惑をかけるまたは危険な行動に繋がっているものを高い順にしました。</p> <p>F:じゃあ、この案件をできているかいないかを○×でしてみよか？また、どんな対策をしたらこの項目は解決できるかな？</p> <p>・リアル寄りのマナー</p> <p>S:歩きスマホ ×</p> <p>→実際に危ない体験をしてもらって講習を行う。</p> <p>→歩きだしたら画面が消えるようにする。</p> <p>→歩きスマホ専用道路を作る。</p> <p>→パスターを道に張って注意をうながす。</p> <p>S:食事中はスマホを使用しない ×</p> <p>S:他人といるときにスマホを触らない ×</p> <p>S:他人と話をするときには目を見て話す ×</p>	<p>→食事中のスマホのマナーを小学校から教えるようにする。</p> <p>→海外同様にスマホ置きをセットしておく。</p> <p>S:する事をしてから触る ○</p> <p>・ネット寄りのマナー</p> <p>S:人の写真を勝手にネット上にあげない ○</p> <p>S:Twitterなどでは実名を出さない ○</p> <p>S:ID・パスワードは常に管理する？ △</p> <p>→ID・パスワードを使いまわすと警告が出るようにする。</p> <p>S:・個人情報をむやみに他人に教えない ×</p> <p>→連先を教える時に注意アイコンがでるようにする。</p> <p>S:ツイートする前に内容を見直す ○</p> <p>S:・SNSの返信は極力返す △</p> <p>S:怪しいサイトはクリックしない ×</p> <p>ネット全体に対して</p> <p>→ネットマナーをもっと小学校の頃から教える。</p> <p>→ネットマナーについて大人も講習を定期的に学ぶ。</p> <p><熟議終了></p>
---	--

【ファシリテーター所感】

年々参加する生徒の意識が高まっていることを感じます。大人が彼らに伝える事はすでに彼らにとって常識であり、さらに彼らなりの「モラル」と「ルール」を身につけていることに感動しました。「他人に迷惑をかけず」「行儀良く」という彼らの姿勢を、私たち大人が見習わねばならないと思いました。子供たちは、「もっとネットモラルの教育を充実させ、大人も学ぶべき」という思いをもっています。みんなでよりよい社会を作っていきたいですね。

【ファシリテーター補助所感】

話し合いが進んでいくなかで、生徒たちは自分たちなりにルールを意識し、生活場面で葛藤を感じながらも社会と向きあっていることがわかりました。話し合いも活発に行われ、ユニークな案を生み出すまでの姿は頼もしさすら感じました。さらに、最初に提案された話し合いの場での数点のルールを自分たちで守りきったあたりに、生徒たちの潜在的なモラルの高さを感じました。生徒たちへのこうした場の提供は今後ともぜひ行って欲しいです。

【書記所感】

今日、初めて書記をやらしていただきましたが出る意見全部を書き写すことは無理だということがわかりましたので全部を書かずに大事な意見を残すようにしました。書いているうちに書き方が変わったりして書き直したりするのは面倒なことでしたが、班の子達のまとめ方がだんだん上手くなっていくのが書きながら実感できたので大変でしたが楽しかったです。今回は良い意見や楽しく作ることができたのでよかったですと思います。有難うございました。